

# 交通安全は家庭から



## 自動車に乗せるとき



～よく見られる悪い例～

### 肩ベルトを抜いている



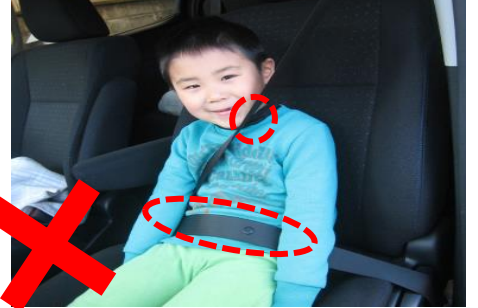
ベルトの緩みチェックを！（大人の指1本が入る程度）

### 座るだけでベルトを非着用



まったく意味がありません。ベルトを正しく着用させましょう。

### ベルトが首や腹部にかかっている



お子さんの身体に合ったジュニアシートを着用させましょう！

チャイルドシートは交通事故などの衝撃からお子さんの大切な命を守ります。

万が一の事故に備え、チャイルドシート・ジュニアシートを正しく着用させましょう！



## 歩いて出かけるとき



※ 子どもから目と手を放すのは大変危険です！



### 手がほどけにくい繋ぎ方



① 親指を握らせる



② 人差し指と中指で手首をつかむ



ベビーカーを利用する場合は、柄をつかませる等の工夫を！

### ① 止まる



止まる癖をつけましょう！

### ② 手を挙げる



大人も見本となって一緒に手を挙げましょう！

### ③ 見る



「右から赤い車が来たよ止まってくれるかな？」等の声掛けを！

道路を渡る手順

自宅や園舎から出たら、お子さんから手と目を離さないことを徹底しましょう！

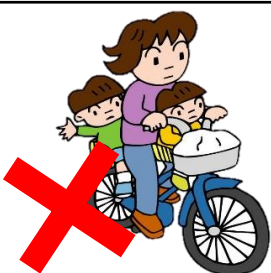
また、お子さんの目線に合わせ、繰り返し丁寧に指導をしましょう！



## 自転車に乗せるとき

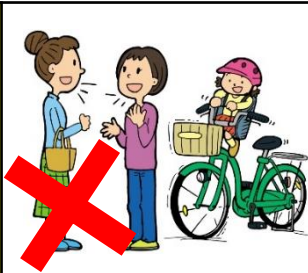


ヘルメット非着用



子どもだけでなく、運転する大人もヘルメットを着用！

乗せたまま目を離す



目を離れた間に自転車が転倒し、お子さんを危険にさらす可能性が！

荷物の積みすぎ



バランスを崩し、ハンドルを上手く操作できず転倒することも！

自転車は乗れば車両です！交通ルールを正しく守りましょう！

また、ヘルメットを着用し、万が一の交通事故に備えましょう！



普段の行動を振り返ってみましょう



# 交通安全チェック

家から出るとき、安全確認をしていますか？

**止まって**、自転車や車が来ていないか、**子どもの目線に合わせて安全確認**を！  
背の低い子どもにとって、安全確認の障害になるものがたくさん！大人の目線で見えている車が子どもからは見えていないことも！



手を繋いで歩いていますか？

**子供の一人歩きは大変危険！**

「手を繋いでくれると嬉しいな」等、**繰り返し声掛け**をして、**習慣付け**を！  
大人が車道寄りを歩き、お子さんを守りましょう！



道路横断時、指導していますか？

**①止まる ②手を挙げる ③見る** の順で、しっかりと車の方向を見ることができているか、一緒に見ましょう。「大きなトラック止まってくれるかな？」等、**具体的な声掛けが効果的**です！

大人が良い手本となっていますか？

歩行者用信号機が青色点滅や黄色信号の時に急いで渡る等、していませんか？  
子供は**大人の行動を見ています**。交通ルールを守り、**手本**になりましょう！



自転車に乗る際、ヘルメットを着用させていますか？

ヘルメットは、**子供の頭を守る**大切なもの。着用を徹底しましょう！



安全な自転車を選んでいますか？

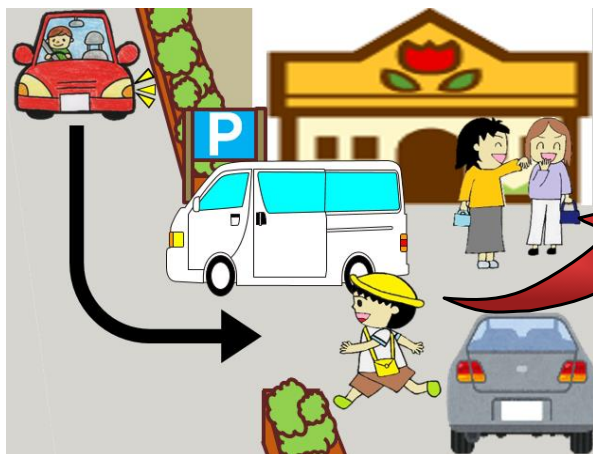
「**幼児2人同乗基準適合マーク**」のない自転車には、幼児を2人乗せることは出来ません。また、不安定で転倒しやすく大変危険！適合車を利用しましょう！



幼児2人同乗  
基準適合マーク

## 駐車場内でお子さんから**目と手**を離していませんか？

駐車場で自由に遊び回るお子さんと会話に夢中の親（大人）を見かけます。児童・幼児の監督・付き添いの義務が道路交通法14条で決められています。  
子どもの事故は**親の責任**です！！



事故が発生しています！！



**駐車場も油断禁物！  
目と手を絶対に離さないで！**

駐車場へ出入りする車が  
子供に気付かず・・・